

東海大学スチューデントアチーブメントセンター
2023年度 チャレンジプロジェクト募集要項

プロジェクトは、「良い企画に合わせて時限的に人が集まる」という前提で行われる活動です。東海大学スチューデントアチーブメントセンター（以下「SAC」という。）では、

- (1) 対象を見据え、その本質を掘り下げ可能性を広げる力（自ら考える力）
- (2) 多様な人々の中で生き、その集団の形成・維持に寄与する力（集い力）
- (3) 困難な問題に主体的に向き合い、解決・達成に向け踏み出す力（挑み力）
- (4) 目標達成の途中で生じる失敗や挫折を乗り越えて、目標に近づく力（成し遂げ力）

を体得する実践的な活動を支援します。

SACでは、社会で日常的に行われている「プロジェクト」という活動形式に参加する機会を通じて、『自ら考える力、集い力、挑み力、成し遂げ力』を培いながら、周り（社会）の人々からの信頼を得る活動^{※1}とはどのようなものかを実践的に学び、そのことを通じて「自分の周り（社会）の人々の生活を豊かで生き生きとしたものにすることで自分も幸せになれる」という思想を学生に培ってほしいと考えています。

つまり、SACが支援するチャレンジプロジェクトは、授業と並ぶ大学教育のプログラムであり、「活動を通して社会的実践力を身に付けること」を目的として設定しています。そこで、チャレンジプロジェクトの採択基準では、「活動においてどのように4つの力を学ぶのか」を重視しています。

また、「重視する学びのテーマ」を記載する欄を「プロジェクト計画書」に設け、前年度からの継続的な活動（イベント開催、大会参戦など）であっても、これまでの成果・反省点を踏まえ、その年度で新たに「何をどのように学ぶか」をしっかりと考えて盛り込んでいるかどうか、その「学びの姿勢」を審査します。

活動実施における目的として学内外からの高い評価を受けることは大切なことです。しかし、SACの教育プログラムでは結果よりもプロジェクトがそこに辿りつくまでのプロセスにこそ成長の機会があり、さらに、それぞれの活動を通して社会貢献活動を行うことが重要であると考えています。

※1 信頼には「誰からの」という意味で様々な種類があります（メディア等から評価されるもの、地域・家族・友人からの信頼など）。それぞれの領域で信頼を得る活動であることが、プロジェクトの公共的価値（多くの人々の幸せな生活の維持に貢献する）を意味することになります。

信頼を得るためには、自分たちの活動を周り（社会）の人々に広く知らせて理解していただき、できれば参加していただく必要があります。また、信頼を得られたかどうかを示すためには、第三者によって自分たちの活動のどのような点を評価されたのかを具

体的に示すことが求められます。例えば、「面白い」「珍しい」というだけでマスコミに取り上げられただけでは信頼を得たことにはならず、どのような評価が行われたかが重要です。地域の人々から協力を依頼されたり、感謝されたりすることも信頼を得られたことの証明と言えます。

2023年度（2023年4月1日～2024年3月31日）にプロジェクトの立ち上げを希望する学生は、次の内容をよく読んで応募してください。不明点等は、各校舎の担当窓口で尋ねてください。

1. 応募資格（対象者）

東海大学に在籍するすべての学生（休学中の除く）

2. 応募要件

学生グループによる自主的・創造的な企画であり、次の(1)～(9)の応募要件に適合している必要があります。

- (1) プロジェクト応募時に活動するメンバー数が【湘南校舎：湘南校舎 **25名**以上、湘南校舎以外 **15名**以上】を満たしていること。
- (2) 年度単位で計画が完了し、1年間を通じた企画内容であること。
- (3) 企画内容はプロジェクトを実施するメンバーが立案したものであること。
- (4) 支援金額に寄らず、実行が可能なプロジェクトであること。また、計画書の内容が著しく変更されないこと。
- (5) 応募するプロジェクト活動の内容やその一部が、他の支援金等に採用されている場合は、「予算計画書」の「(C) 他からの収入」に記載すること。
- (6) 実施メンバーが所属する学科（または専攻・課程）及び学年は複数にわたること。
- (7) 公認クラブ・一般サークルの活動と異なるプロジェクトであること。
- (8) 地域活性に志向した社会貢献活動を含むこと。
- (9) S A C主催の募集説明会に出席すること。

3. 支援金額

(1) 申請額

申請上限：原則 200 万円まで

※200万円を超えて希望する場合は特別申請をすること

(2) 予算査定

最終的な支援金額は、下記 4 項目の合計を「支援金確定額」とし、6月中旬に決定する。

- 1) 支援金査定額…申請金額に対して、審査会が査定する金額
- 2) メンバー確定額…5月1日のメンバー数に応じて増額する金額
- 3) 審査結果加算額…審査時に評価の高かった上位5プロジェクトに対して増額する金額
- 4) 修了認定率加算額…前年度の修了認定率の高かったプロジェクトに対して増額する金額

詳細は別紙「予算査定について」参照すること。

(3) 特別申請

1) 条件

2022年度に採択されているプロジェクトが、本応募時に支援金希望金額が200万円を超える場合に申請可。

2) 申請額

上限1,000万円

3) 応募方法

プロジェクト計画書に併せて支援金特別申請書を提出すること。

予算についてはプロジェクト計画書に組み込み、さらに活動実績の水準を説明できる資料を添付すること。

(4) 注意事項

2022年度から継続して応募し採択されたプロジェクトが、2022年度に著しく信頼を損なう行為があった時には、2023年度の支援金額を減額する等のペナルティーを課すこともあり得ますので、注意すること。

4. 募集期間

2022年10月17日(月)～2022年10月29日(土)

5. 応募方法

(1) 募集説明会

応募プロジェクトは必ず参加すること。(各プロジェクト複数名参加可)

両日程とも同一内容となりますので、どちらかにご参加ください。

開催日時：第1回 2022年10月17日(月) 17:30～18:30(終了予定)

第2回 2022年10月18日(火) 17:30~18:30(終了予定)

開催形式: Microsoft Teams (オンライン)

チーム名: チャレンジプロジェクト 2023

チャンネル名: 01_2023年度チャレンジプロジェクト募集

コード: djqv3k1

(2) 申請方法

説明会出席後、所定の様式をダウンロードし、必要事項を記入のうえ提出ください。

様式: 01_2023年度チャレンジプロジェクト募集 ⇒ ファイル⇒ 01_様式

申請方法: メール申請

提出先: project-kakari@tsc.u-tokai.ac.jp

募集締切: **2022年10月29日(土) 16:00【厳守】**

(3) 注意事項

- ・SAC主催の募集説明会に必ず出席すること。
- ・募集期間(提出締切日時)を過ぎたプロジェクト計画書の提出(再提出を含む)は一切認めません。
- ・応募書類を指定メールアドレス以外に提出した場合は、申請を一切認めません。

6. 審査

(1) 審査方法

一次審査: 書類審査

二次審査: プレゼンテーション・ヒアリング ※一次審査を通過したプロジェクト

1) 一次審査(書類)

募集締切までに以下の様式を提出すること。

- ①プロジェクト計画書
- ②支援金特別申請書 ※希望プロジェクトのみ

2) 二次審査(プレゼンテーション・ヒアリング)

一次審査を通過したプロジェクトは、SACが指定した日時にプレゼンテーション・ヒアリング審査を実施します。所属校舎によって、実施方法が異なりますので下記をご参照ください

い。

【概要】

実施日程：2022年11月7日（月）～12日（土）

実施時間：約20分（プレゼンテーション7分・ヒアリング約13分）

実施方法：湘南校舎にて対面実施（湘南・伊勢原・高輪・渋谷校舎所属プロジェクト）
オンラインにて実施（清水・熊本・札幌校舎所属プロジェクト）

※二次審査日時についてはSACにて指定いたします。（7日（月）～11日（金）については17時以降、12日（土）9時以降）予め日程を空けておいてください。

※審査日時の詳細については1次審査結果通知の際にご案内いたします。

※プレゼンテーション実施方法は、スライドを使用し実施ください。

（2）評価項目

- 1) 「達成目標」と「重視する学びのテーマ」が明示され、これらを実現するためのプロセス、必要な資源（資金、時間、モノなど）が明確に示されているか。

2022年度のプロジェクトが継続して応募する場合は、2022年度の成果・反省点を踏まえ、新しい「重視する学びのテーマ」を考えているか。

- 2) 他の組織や人々とどのように連携し、そのことを通じて何を学ぶかをよく考えているか。
- 3) 他の組織や人々から信頼を得るために、自分たちの活動が社会と連携しているかをよく考えているか。
- 4) 目標を達成するために必要な知識・技術の修得や活用方法をよく考えているか。
- 5) 既存のプロジェクトやこれまでに活動実績のある団体は、2021年9月～2022年10月でどのような実績を残したか。

7. 審査結果（プロジェクトの採否）の発表

2023年1月中旬を目安に、プロジェクトリーダーに対してメールでの連絡、SACのHPに掲示及び東海大学新聞等を通じて発表します。

8. 採択後の遵守事項

- （1）運営マニュアルの規則に則り活動すること。
- （2）各プロジェクトにて、オリエンテーションを開催し、SAC及びプロジェクト活動のルール等をメンバーに周知すること。（SACより資料提供あり）
- （3）各プロジェクトの代表者は、SACが開催するプロジェクト協議会へ出席すること。
- （4）SACが開催する報告会において、プロジェクト活動の成果を発表すること。

- (5) SAC が開催する研修に出席すること。
- (6) 大学が主催する企画※1 に積極的に参加すること。
- (7) 活動の結果・成果等は、発生した段階で速やかに各校舎担当窓口へ報告すること。
- (8) 各種提出物については、SAC が指定した期日までに各種報告書を提出すること。
- (9) 各プロジェクトは、SNS 等で活動を紹介すること。
- (10) 新型コロナウイルス感染症対策については、大学（各校舎のコロナ対策本部）やSAC の指示に従うこと。

※1 オープンキャンパス・グローバルフェスタ・建学祭 等

9. サポート体制

各プロジェクトには、プロジェクトコーディネーターとプロジェクトアドバイザーが配置されます。

(1) プロジェクトコーディネーター【職員】

1) 支援内容

プロジェクト活動全般を支援します。

【コーディネーターの主な業務】

- ① プロジェクト活動の支援及びメンバーに対する助言
- ② プロジェクト活動に関わる各種書類の確認・管理（報告書等）
- ③ 活動時に発生した事故やトラブル等についての報告

2) 配置方法

SAC が指定した職員を配置する。（専任職員・特任職員）

(2) プロジェクトアドバイザー【教員】

1) 支援内容

専門的な知識及び技能を有し、プロジェクト活動に対して助言・指導を行います。

2) 配置方法

プロジェクトよりアドバイザー希望教員に依頼し、SAC に申請後、配置。

ただし、非常勤教員は除くこと。

10. その他

- (1) 申請書に記載する個人情報は、プロジェクトに関する内容について、本学の担当部署から問い合わせをする目的のみに利用し、それ以外の目的で利用することはありません。

(2) 採択されたプロジェクトについては、プロジェクト内容や代表者名等の情報を本学の広報において利用することがあります。

(3) 採択の可否にかかわらず、提出された申請書は返却しません。

11. 担当窓口

湘南校舎： スチューデントアチーブメントセンター

代々木校舎： グローバルシチズン カレッジオフィス渋谷ランチ

高輪校舎： グローバルシチズン カレッジオフィス高輪ランチ

清水校舎： スルガベイ カレッジ静岡オフィス

伊勢原校舎： メディカルサイエンス カレッジオフィス

熊本校舎： フェニックス カレッジ熊本オフィス

札幌校舎： ウチムラカンゾウ カレッジ札幌オフィス

以上